2018年３月期第２四半期
（2017年４月～９月）
決算説明会

2017年11月9日

株式会社日本エム・ディ・エム

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

目次

1．　2018年３月期Q2連結決算結果

①過去最高売上高 ・・・ 3

②連結損益計算書 ・・・ 4

③主要品目別連結売上高 ・・・ 5

a 人工関節Q2累計売上推移 ・・・ 6

b 骨接合材料Q2累計売上推移 ・・・ 7

c 脊椎固定器具Q2累計売上推移 ・・・ 8

d 米国販売Q2累計売上推移 ・・・ 9

④前年同期営業利益比較分析 ・・・ 11

⑤予想値対比 ・・・ 12

2.　2018年３月期連結業績予想

①連結損益計算書 ・・・ 13

②主要品目別連結売上高 ・・・ 14

3．　Topics

①China Pioneer Pharma 社との独占販売提携契約締結 ・・・ 15

②骨接合材料新製品「ASULOCK」 平成29年11月から順次販売開始 ・・・ 16

③骨接合材料新製品「ﾌﾟﾘﾏ ﾋｯﾌﾟ ｽｸﾘｭｰ ｻｲﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄ ｼｽﾃﾑ」 平成29年10月から順次販売開始 ・・・ 17

④脊椎固定器具新製品「KMC Kyphoplasty ｼｽﾃﾑ」及び「Mendec Spine 骨ｾﾒﾝﾄ・ｷｯﾄ」
平成29年12月から販売開始 ・・・ 18

1.2018年3月期Q2連結決算結果①

（第2四半期累計期間連結売上高推移）

1.2018年3月期Q2連結決算結果②

連結損益計算書

（単位：百万円、%）

	18年3月期Q2		前年同期比増減		17年3月期Q2	
	実績	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
売上高	6,614	100.0	+218	+3.4	6,396	100.0
売上原価	1,819	27.5	+36	+2.0	1,783	27.9
売上総利益	4,794	72.5	+181	+3.9	4,612	72.1
販管費	3,980	60.2	+228	+6.1	3,751	58.7
営業利益	814	12.3	△ 47	△ 5.5	861	13.5
営業外損益	△ 31	△ 0.5	+71	△ 69.3	△ 103	△ 1.6
経常利益	782	11.8	+24	+3.3	757	11.8
特別損益	△ 26	△ 0.4	+10	△ 29.1	△ 36	△ 0.6
四半期純利益※	487	7.4	+7	+1.5	480	7.5

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1.2018年3月期Q2連結決算結果③

主要品目別連結売上高

（単位：百万円、%）

	18年3月期Q2		前年同期比増減		17年3月期Q2	
	実績	構成比	増減額	増減率	実績	構成比
日本国内販売	**4,288**	**64.8**	**+71**	**+1.7**	4,216	65.9
人工関節	**2,071**	31.3	+16	+0.8	2,055	32.1
骨接合材料	**1,309**	19.8	△ 29	△ 2.2	1,339	20.9
脊椎固定器具	**701**	10.6	+27	+4.2	673	10.5
人工骨	**87**	1.3	+33	+63.4	53	0.8
その他	**117**	1.8	+22	+24.2	94	1.5
米国販売（注）	**2,325**	**35.2**	**+146**	**+6.7**	2,179	34.1
人工関節	**2,292**	34.7	+168	+7.9	2,124	33.2
脊椎固定器具	**33**	0.5	△ 21	△ 39.3	55	0.9
合計	**6,614**	**100.0**	**+218**	**+3.4**	6,396	100.0
自社製品売上高	**5,913**	**89.4**	**+329**	**+5.9**	5,584	87.3
（注）米国販売額（千ﾄﾞﾙ）	**20,875**		+453	+2.2	20,422	
（注）換算レート（円）	**111.42**		+4.69	+4.4	106.73	

1.③a 人工関節Q2累計売上推移

人工関節Q2累計売上推移

ODEV社製品 ＋3.8%

成長期製品の拡販で底上げ図る

※日本国内販売の比較を記載しております。　※画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

1.③b 骨接合材料Q2累計売上推移

骨接合材料Q2累計売上推移

ODEV社製品 ＋10.5%

他社製品低迷 後継機種投入し 再成長目指す

※日本国内販売の比較を記載しております。　※画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

1.③c 脊椎固定器具Q2累計売上推移

脊椎固定器具Q2累計売上推移

（単位：百万円）

ODEV社製品 ＋6.1%

新手技他社製品の投入で一段の成長実現へ

※日本国内販売の比較を記載しております。　※画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

1.③d 米国販売Q2累計売上推移

（単位：千ドル）　（第2四半期累計期間米国販売推移）

（参考）主要品目売上高累計

	18年3月期 Q2累計	17年3月期 Q2累計	前年同期 増減率
KNEE	$12,299K	$11,712K	+5.0%
HIP	$8,075K	$7,786K	+3.7%

$20.8M

新規獲得遅れ
+2.2%
成長

1.③d 米国販売Q2累計売上推移②

新規獲得遅れ、ハリケーン影響等成長限定的

※ 米国販売、脊椎固定器具の販売実績は含んでおりません。

1.2018年3月期Q2連結決算結果④

前年同期営業利益比較分析

1.2018年3月期Q2連結決算結果⑤

予想値対比

2018年3月期第2四半期累計期間は、売上高は第2四半期累計期間で過去最高を達成するも、米国での新規顧客獲得の遅れ等により予想値を下回り、販管費では先行投資として人件費、減価償却費が予想値通りに推移した結果、営業利益、経常利益及び四半期純利益は予想値を下回った。

（単位：百万円）

連結	2018年3月期 第2四半期累計期間 予想値	2018年3月期 第2四半期累計期間 実績
売上高	6,850	6,614
営業利益	900	814
経常利益	830	782
四半期純利益※	500	487

※親会社株主に帰属する四半期純利益

2.2018年3月期連結業績予想①

連結損益計算書

（単位：百万円、%）

	18年3月期		前期比増減		17年3月期	
	予想	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
売上高	14,800	100.0	+1,170	+8.6	13,629	100.0
売上原価	4,100	27.7	+178	+4.6	3,921	28.8
売上総利益	10,700	72.3	+991	+10.2	9,708	71.2
販管費	8,500	57.4	+701	+9.0	7,798	57.2
営業利益	2,200	14.9	+290	+15.2	1,909	14.0
営業外損益	△ 100	△ 0.7	+62	△ 38.4	△ 162	△ 1.2
経常利益	2,100	14.2	+352	+20.2	1,747	12.8
特別損益	△ 100	△ 0.7	+73	△ 42.4	△ 173	△ 1.3
当期純利益※	1,300	8.8	+169	+15.0	1,130	8.3

※親会社株主に帰属する当期純利益

2.2018年3月期連結業績予想②

主要品目別連結売上高

（単位：百万円、%）

	18年3月期 予想	18年3月期 構成比	前期比増減 増減額	前期比増減 増減率	17年3月期 実績	17年3月期 構成比
日本国内販売	**9,520**	**64.3**	**+456**	**+5.0**	9,063	66.5
人工関節	**4,720**	31.9	+240	+5.4	4,479	32.9
骨接合材料	**3,050**	20.6	+97	+3.3	2,952	21.7
脊椎固定器具	**1,330**	9.0	+30	+2.4	1,299	9.5
人工骨	**220**	1.5	+105	+91.7	114	0.8
その他	**200**	1.4	△ 17	△ 7.9	217	1.6
米国販売（注）	**5,280**	**35.7**	**+713**	**+15.6**	4,566	33.5
人工関節	**5,170**	34.9	+708	+15.9	4,461	32.7
脊椎固定器具	**110**	0.7	+5	+5.0	104	0.8
合計	**14,800**	**100.0**	**+1,170**	**+8.6**	13,629	100.0
自社製品売上高	**13,250**	**89.5**	**+1,326**	**+11.1**	11,923	87.5
（注）米国販売額（千ﾄﾞﾙ）	**48,000**		+6,177	+14.8	41,822	
（注）換算レート（円）	**110.00**		+0.82	+0.8	109.18	

3.Topics ①

China Pioneer Pharma 社との独占販売提携契約締結

ODEV社は、CPP社と独占販売提携契約を締結し、CPP社を通じODEV社製人工膝関節製品“Balanced Knee® System”を中国の医療従事者へ提供する。（平成30年1月から販売開始予定）

中国は13.7億人の人口を抱え、65歳以上の人口比率が約10%と拡大傾向にあり、今後も人工膝関節市場の拡大が期待される。CPP社は、中国での輸入医薬品及び医療機器の販売等を通じ事業を拡大しており、整形外科分野においては関節炎等で使用される抗炎症性鎮痛薬の販売等を通じて医師との豊富なリレーションを有している。

中国先锋医药控股有限公司
CHINA PIONEER PHARMA HOLDINGS LIMITED

ORTHO DEVELOPMENT

3.Topics ②

骨接合材料新製品「ASULOCK」
平成29年11月から順次販売開始

骨接合材料市場において最大市場カテゴリーを対象とした大腿骨近位部骨折の治療に用いられる髄内釘で、日本人の大腿骨近位部の形状により適合する仕様に加え、多様な骨折状態の治療に対応すべく骨折部の固定方法や固定強度を選択できるのが特徴。2010年1月より販売開始したOM-Femoral Nailの後継機種として4万例超の治療実績及び医療従事者の要望を反映し開発され、当該製品導入により骨接合材料分野の販売拡大が期待される。

「ASULOCK（アスロック）」

骨接合材料分野

※画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

3.Topics ③

骨接合材料新製品「ﾌﾟﾘﾏ ﾋｯﾌﾟ ｽｸﾘｭｰ ｻｲﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄ ｼｽﾃﾑ」平成29年10月から順次販売開始

日本人の３D-CTデータの解析から設計されたODEV社製品プリマ ヒップ スクリューの固定性を向上する製品として開発、現在販売中の「プリマ ヒップ スクリュー システム」に本製品が加わることにより、大腿骨頚部骨折に対する治療戦略の選択肢が拡がり、シナジー効果による両システムの販売拡大が期待される。

ORTHO DEVELOPMENT

「プリマ ヒップ スクリュー サイドプレート システム」

「プリマ ヒップ スクリュー システム」

※画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

骨接合材料分野

3.Topics ④

脊椎固定器具新製品
「KMC Kyphoplastyｼｽﾃﾑ」「Mendec Spine骨ｾﾒﾝﾄ・ｷｯﾄ」
平成29年12月から販売開始

米国で開発されたBKP（Balloon Kyphoplasty：経皮的後弯矯正術）と呼ばれる新しい治療法で使用される風船状の手術器具及び医療用骨セメントで、原発性骨粗鬆症による１椎体の急性期脊椎圧迫骨折で十分な保存加療によっても疼痛が改善されない症例に用いられる。当該製品が加わる事で、脊椎固定器具分野での販売の拡大が期待される。

「KMC Kyphoplasty システム」

「Mendec Spine 骨セメント･キット」

脊椎固定器具分野

※画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。